

■市民の皆様からいただいた「市長への手紙」に対する回答の内容をまとめました。

- 対象となった市長への手紙 : 21件 (ただし、匿名等で回答していない市長への手紙は除く。)  
 うち回答済みの件数 : 21件  
 うち回答作成中の件数 : 0件  
 ○対象とならなかった市長への手紙 : 33件 (匿名、回答不要、市政に直接関係のない内容のもの。)

■回答したもの (受付年月 令和2年7月分)

※回答済みのもののうち、1件は個人情報に関する趣旨となっており、下記に内容を掲載しておりませんので御了承下さい。

※回答済みのもののうち、計11件は似た内容となっており意見を総括して掲載していますので御了承下さい。

対応状況凡例 : ○=手紙の内容に応じて対応済

△=手紙の内容を検討中

×=手紙の内容に対応できない

NO.	種別	件名	要旨	対応		所管課
				内容	状況	
1	メール	気象等の警報・注意報の注意喚起について	7月7日8時30分現在、島田市において大雨警報・土砂災害警戒警報、雷注意報・洪水注意報が発令されています。島田市民にこの情報をできるだけ早く周知するためには、あらゆる手段で情報伝達を行う必要があります。刻々と気象変化が進む中、市のホームページで確認したが、警報・注意報の情報が見当たりません。市の広報課に問合せたところ、情報はメール配信をしているから、また、危機管理課から依頼がないからとの回答でした。防災メールの登録が全市民の何割行われているかはわかりませんが、一つの手段に頼るのではなく、ホームページという情報公表ツールがある以上、活用しない手はないと感じます。島田市が災害に合わないために、やっておけばよかったと後悔することがないように対応を検討いたします。	この度の気象警報・注意報の注意喚起について、市公式ホームページでの情報発信がなく、不安を抱かせてしまったことをお詫び申し上げます。 現在、市民の皆様に向けての豪雨時等の警報・注意報に関しては、防災メール等にてお知らせしているほか、ウェブ・テレビ・ラジオ等のメディアからの情報取得をしていただいております。直近の大雨に関連した情報につきましては、市公式ホームページに緊急防災情報と併せて、「大雨に関連する危機管理課からのお知らせ」を掲載させていただきました。 今後とも、警報・注意報に伴う避難所開設等の防災情報を含め、状況に応じて、ホームページにて適時適切な情報発信を迅速に行ってまいります。	○	広報課 36-7355 危機管理課 36-7320
2	メール	手紙	市長の市政についてお訊ねいたします。 1. 今、市民病院の建て替えを行っていますが、この地は昔は芦原の沼地で地番が弱くパイルを打ち込んだ建築工事で工事費と日数がかかります。 2. 数年前に国の炭素新法が発令されて市役所を中心に半径1.5キロ以内に図書館・保健センター等を作り市民が自動車での往来を少なくして排気ガスを抑える法律です。 3. 市長は就任直後に家山の市営温泉ホテルの	はじめに、現在建設中の新病院ですが、平成30年4月から工事が始まり、令和3年春に名称を「島田市立総合医療センター」として開院予定です。 建設場所は、必要面積・事業実現性など土地機能等の評価を経て、複数の候補地の中から選定いたしました。評価の際には、地盤強度が劣っている課題があげられましたが、対策を実施することで解決でき、あわせて、面積が十分確保できることや改めて用地を取得する必要がないなど、事業の実現性を高く評価したものです。また、路線バスが複数あるこ	○	下水課 35-7720 戦略推進課 36-7120 観光課 36-7399

建設計画をストップさせましたが今ではドル箱の入りで駐車場も不足し田んぼの中へも増設中。

4. 下水道の工事中ですが本通りを何回も掘り起こして工事費がかさんでおります、この工事に入る前に関係住民に市の職員から説明会がありました、住民たちは全員不要の意見でした、「都市計画の時なら賛成」の考えでした。台所と風呂とトイレをつなげて下水へ流す工事ですが家屋内の工事費が100万円の予定で住民の負担、これでは賛成者はおりません、裏まで通路が無い家庭は板の間や畳の間をどかしての工事は無理です。下水工事は先に歩道から家庭の入り口まで済んでいますが使用する住民がいなければ無駄な市費です。何年か前に横井町に下水処理場が完成していますがここは高度から言って真ん中にあり現在の南町はポンプアップしていて不経済そのもので〇〇市長の劣政でした、当時は県庁から職員が市役所へ来て下水道新設を進めておりました、島田市の地形から言って西から東は高度差があり自然と東へ流れます、お水神さんの高度と東の自岩寺は同じ高度で放水路の流れは段差が何か所もある傾斜です。日本経済新聞の記者が全国版へ掲載して話題になった天竜川の上流の下条村の〇〇町長は長野県庁から下水施設を勧めに来たが施工してなくて良かった、やっていたら村の財政が破綻していたかもしれない。前市長は炭素新法を知っていたので本通りの現ヨシコンのマンション地への市民病院建設を予定していた、この本通りの地は駅に10分と近くバスもタクシーも往来していて車が使えない高齢者にも良好な位置である。下水道の使用量はメーターが無く料金の計算は水道量にイコールしていてこれでは床屋・美容院・魚屋の水道をたくさん使う職業は不利である。

5. 島田市へは永く住んでいて歴代の市長の市政を見ていたが〇〇元市長と〇〇元市長を除き良い手腕と思っているが市長の現政治を見てると元へ戻すのに40年の歳月が必要な気がする。

と、駅と病院の間のタクシーの搬送があることなどから、交通アクセスは優れていると評価いたしました。こうした評価項目を総合的に判断し、新病院の建設地は、現在の市民病院と選定したものです。

次に、市営温泉ホテルについて、川根温泉ホテルの件とお察しいたしますが、市長就任後に着手していた建設工事を一旦ストップさせました。その間にホテルの運営を市直接運営から、民間事業者による指定管理者制度へ方向転換し、工事を再開するとともに、平成25年の市議会9月定例会において設置条例を制定して、指定管理者の公募を開始いたしました。翌年の平成26年7月に（株）時之栖による公設民営の体制で川根温泉ホテルがオープンしました。なお、現在、駐車場不足による田んぼへの増設計画や工事はございません。

次に、下水道事業は、汚水処理の向上により、水質の保全と生活環境改善を図ることを目的に進めており、本通六丁目、七丁目地区の下水道本管理設工事は、平成29年度から着手し、平成31年3月に完了しました。

「本通りを何回も掘り起こして工事費がかさんでいる」とのご指摘についてですが、下水道工事の施工にあたり、道路をはじめ、ガス・水道等の管理者と十分に調整を図りながら、適切な工程管理のもと周辺環境に最大限配慮しながら工事を進めてまいりました。工事中は地元の皆様にはご不便・ご迷惑をお掛けしましたが、ご理解とご協力により無事に工事を完了することができました。

次に、地元への説明の件ですが、全体説明会の開催と戸別の説明を行い、公共ます及び取付管設置位置確認書を提出していただき、関係者の皆様のご理解とご協力のもと工事を進めさせていただきました。

下水道管に接続する宅地内の排水設備工事については、当市のみならず全国的に、自己負担により設置をお願いしているのが現状です。具体的な費用については、一度、指定工事店に見積を取って頂いて、ご不明な点があれば下水道課へ相談を頂きたいと思っております。

また、南町のマンホールポンプの件ですが、下水道の排水計画は、基本的に自然流下で計画してお

				<p>り、現在、供用開始している区域のほとんどが、自然流下となっています。マンホールポンプについては、一部の地区で土地の高低差の関係でやむを得ない場合は、経済性などを考慮し、必要最小限で設置をしております。</p> <p>最後に、下水道使用料の件ですが、水道水の使用量の多い方は下水道へ流す排水量も多くなり、下水処理にかかる経費や汚水処理施設への負担もかかることとなります。</p> <p>このため、水道使用量に応じて使用料をご負担していただいております。</p>		
3	手紙 メール	リニア会談後の市長の発言について	(意見総括) 県知事と事務次官の会談後の市長の発言について残念に思った。	<p>リニア中央新幹線整備に係る大井川水系の流量減少をはじめとする水問題は、島田市のみならず流域8市2町の60万人を超える住民の生活、そして経済活動に大きく関わるものです。</p> <p>島田市は、大井川の「地元中の地元」です。私は強い思いを持ち、然るべき場で積極的に発信してきました。</p> <p>7月10日の静岡県知事と国土交通省事務次官の会談を受けて、私が発言し、新聞等メディアに報道された内容について、述べたいと思います。</p> <p>私は、国土交通省の「坑口等整備が、水資源及び自然環境保全に影響を与えるとは考えにくい工事内容であること」との主張に対して、反対するだけのしっかりとした論拠を持つ必要があるのではないかとこの趣旨の発言をいたしました。また、「準備工事」について、それぞれ流城市町での解釈に差があるのではないかと、疑問を口にしたものであります。</p> <p>私は、決して考え方を変えたわけではなく、水を守り抜くために、リニアと環境の両立に向けて、具体的かつ建設的な議論をしなければいけないと感じているのです。報道を介することによって、私の発言の真意が正しく伝わらなかったことを、大変残念に思います。</p> <p>最近では、リニアの話題が報道されない日はほとんどありません。しかし、論点が拡大・拡散する傾向にあり、見通しが立たず、どんなことが起こっているのか皆さまに正しく伝わっていないのではないかと心配しています。正しい情報を伝えられるよう努めてまいります。</p> <p>大井川の水は、島田市にとって、まさに「命の</p>	○	戦略推進課 36-7366

				水」です。島田市の想いは、「大井川の水だけは譲れない」、ただその一点にあり、この強い想いは変わっておりません。「命の水」を絶対に守り抜くには、市民・県民そして国民の皆さまからの共感と理解、そして後押しがどうしても必要です。今後も御理解、御支援をよろしく願いいたします。		
4	メール	胎児の給付金	今、現在私達夫婦の間に胎児がいます。先日、同県内の富士市が2021年4月1日までに生まれた子どもとし、給付額は1人10万円を軸に調整しているという事を発表されました。島田市も同様に2021年4月1日までに生まれた子に給付金の支援をしていただけないでしょうか？よろしくお願ひ致します。	<p>ご提案の4月28日以降に生まれた子どもへの独自の給付金については現在検討しておりませんが、島田市では、子育て世帯の経済的・精神的負担が軽減されるようなさまざまな支援を行っております。</p> <p>3歳児以降の国の幼児教育無償化事業に加えて、0歳から2歳児の保育料の第2子半額・第3子以降の無償化事業や、こども医療費の助成（18歳まで）などがあります。</p> <p>また、妊娠中及び出産間もないお母さんが安心して子育てができるように、育児経験のある保育士が無料で家庭を訪問して相談・育児援助を行う「育児サポーターの派遣」や、子育てに関する情報の発信やサービスの紹介・相談・仲間との出会いなど、個々に応じて対応をする「子育てコンシェルジュ」など、島田市独自の支援を行っておりますので、お気軽にご相談くださいますようお願いいたします。</p>	×	子育て応援課 36-7159
5	メール	リニア大井川、水量の件	市長様、お伺い致します。ご存知ですか、山梨県内リニア工事にて、場所により川が、もう既に水枯れがある事。水が豊かな所であった笛吹市周辺でリニア工事直後から枯渇、騒ぎになってしまったが、黙るしかない状況。ちゃんと、広報しましたか？この事実、市民は、ご存知ですか。政治をする方は広く周りを見て下さいませ。	<p>リニア中央新幹線整備に係る大井川水系の流量減少をはじめとする水問題は、島田市のみならず流域8市2町の60万人を超える住民の生活、そして経済活動に大きく関わるものです。</p> <p>島田市は、大井川の「地元中の地元」です。私は強い想いをもち、然るべき場で積極的に発信してきました。</p> <p>リニア中央新幹線実験線沿線である山梨県笛吹市における沢枯れについては、新聞等報道によって全国に知られているものと思います。また、私たちの近隣である掛川市では、新東名高速道路の粟ヶ岳トンネルが施工された影響で、観光名所「松葉の滝」の水が枯れた事例もよく知られています。</p> <p>このように、トンネル工事によって、水資源に影響があった事例は、枚挙にいとまがありません。一度失ったものは取り戻せないという教訓であり、大井川の流域市町にとっては、決して対岸の火事ではないのです。</p> <p>最近では、リニアの話題が報道されない日はほと</p>	○	戦略推進課 36-7366

				<p>んどありません。しかし、リニア中央新幹線静岡工区に係る論点は、拡大・拡散する傾向にあり、見通しが立たず、どんなことが起こっているのか皆さまに正しく伝わっていないのではないかと心配しています。正しい情報を伝えられるよう努めてまいります。</p> <p>大井川の水は、島田市にとって、まさに「命の水」です。島田市の想いは、「大井川の水だけは譲れない」、ただその一点にあり、この強い想いは変わっておりません。「命の水」を絶対に守り抜くには、市民・県民の皆さまからの共感と理解、そして後押しがどうしても必要です。</p> <p>今後も御理解、御支援をよろしく願いいたします。</p>		
6	メール	リニア問題について	(意見総括) 膠着した今の状況を打開するきっかけになって頂きたい。	<p>リニア中央新幹線整備に係る大井川水系の流量減少をはじめとする水問題は、島田市のみならず流域8市2町の60万人を超える住民の生活、そして経済活動に大きく関わるものです。</p> <p>島田市は、大井川の「地元中の地元」です。私は強い想いをもち、然るべき場で積極的に発信してきました。</p> <p>まず、お伝えしたいことは、私はリニア中央新幹線の建設工事には反対していないということです。リニア中央新幹線は、日本の発展に資する、国を挙げてのインフラであると認識しております。</p> <p>一方で、今日の島田市の発展があるのは、大井川の表流水に留まらず地下水までを含めたすべての水のおかげだと言えます。南アルプスを源とするその恵みは、農林業・工業・観光業の成長に加え、ここにしかない歴史・文化の創造に大きく寄与してきました。</p> <p>水を守り抜くために、リニアと環境の両立に向けて、具体的かつ建設的な議論をしなければいけないと感じています。</p> <p>大井川の水は、島田市にとって、まさに「命の水」です。島田市の想いは、「大井川の水だけは譲れない」、ただその一点にあり、この強い想いは変わっておりません。</p>	○	戦略推進課 36-7366
7	手紙	県道国道等信号機がある箇所にて3車	最近車の増加で信号箇所非常に混み合う。トラブルにならない様道中を広げる工夫をして下さい。協力が必要な所は5年・10年計画で充分住民	ご指摘の箇所は、市道 御仮屋中河町線（はなみずき通り）と、市道中央町中河線及び県道伊久美元島田線が交わる交差点の2箇所と拝察いたします。		

		線を	に説明して理解を求める早期実現を求めます。	<p>これらの道路につきましては、都市の骨格を形成し、地域相互を連絡する道路として、都市計画法に基づき都市計画決定して整備された道路です。</p> <p>整備後の平成20年度及び平成26年度に実施した交通量調査では、交通量に大きな変化はありませんでしたが、ご指摘のとおり、現在は、時間帯により渋滞が発生している状況にあることを認識しています。</p> <p>また、市道中央町中河線の交差点では、平成28年10月に、通学者など歩行者の安全を優先し、公安委員会が歩車分離式信号機に変更していることから、車両の待ち時間が増加し、渋滞の発生につながっている可能性も考えられます。</p> <p>この様に、渋滞の発生原因としては、交通量や道路の構成（車線数、右折レーン・歩道の有無など）のほか、信号機や大型車の混入率など、ソフト面での交通処理が関係する場合があります。</p> <p>また、その道路の持つ役割によっては、近隣自治体との連携により、検討しなければならない場合もあります。</p> <p>前回実施した交通量調査から時間も経っていることから、ご指摘も踏まえ、今後必要に応じ交通量の変化や渋滞の状況を調査し、道路管理者、公安委員会等と調整を図り、渋滞解消に向けた取り組みを検討していきたいと考えます。</p> <p>なお、県道伊久美元島田線については、所管する静岡県島田土木事務所にご意見を伝えます。併せて、道路行政の実現には、多くの皆様の御理解、御協力が必要であり、時間がかかることもご理解下さい。</p>	△	都市政策課 36-7177 建設課 36-7183 すぐやる課 36-7181
8	手紙	図書館のカサ立てについて	<p>カギがかかるカサ立て 40 個あるのですが、カサがないのにカギだけをもっていってしまうズルイ者が多くいます。実際に利用できる数は 13 個です。あとはカギがないので利用できません。図書職員は知らん顔をしています。なぜなのでしょう。トイレの張り紙だけに注意を払っている。それだけでは足りません。でもトイレへのいたずらはもうなくなったでしょう。しかし、カサ立ての件は私はずっと以前から気がついていたのですが、最近ひどくなってしまっていて職員はだまっている為、処置をとらないとはどういう事なのでしょう。</p>	<p>島田図書館入口に設置している鍵付きの傘立てにつきましては、御指摘の状況となっており、御不便をお掛けしていることをお詫び申し上げます。</p> <p>今回の御指摘を踏まえ、改めて2階、3階の傘立てを確認し、故障していた箇所及び鍵の紛失箇所の修理等を行います。</p> <p>また、鍵紛失の予防策として注意を促す紙を掲示しました。</p> <p>今後は、故障等に注意を払うとともに、不具合が発生した場合は早急に対応するようにしてまいります。</p>	○	図書館課 36-7226

			うか。新型コロナの対策ばかりこだわっているように思えてなりません。ほかにもまだありますが、それは、自分も考え中で投書を控えています。職員の様子を見ながら決めようかと思っています。			
9	メール	首都圏からの帰省	<p>市長からのメッセージを拝見いたしました。このような世相では致し方ないかと思えます。しかし、娘は夏休み閉寮するため、首都圏より帰省します。帰省後の世間の目、娘の精神衛生等を考えると、自費で PCR 検査を受けたいと思えますが、現状県内では帰国者または医師の判断がないと受けられないようです。帰省を控えるようメッセージされると同時に、帰省をせざるを得ない人への対策も発信して頂きたいと思えます。家庭での 2 週間の隔離は現実的には不可能に思えます。</p>	<p>7月17日の新型コロナウイルス感染者の市内での発生を受け、動画により緊急メッセージを市民の皆様にお知らせしました。その中で、東京との往来や、夏休みやお盆の時期に東京から帰省を控えていただくようお願いをしました。</p> <p>ご指摘いただきましたように、様々な事情によりどうしても帰省しなくてはならないケースもあり、〇〇様をはじめ当事者である方々のお気持ちは痛いほどお察しいたします。</p> <p>今回のコロナウイルス感染者発生のニュースに際し、市内でも様々な憶測や噂、デマが聞こえてきました。緊急メッセージでは加えて、市民の皆様に対し、感染者の人権尊重や個人情報保護への配慮についてお願いしました。島田市民として、誹謗中傷につながる言動は絶対にやめてほしいと強く願っております。</p> <p>今後は、事情によりどうしても帰省する必要のある方に対する配慮につきましても、併せてお伝えしていきたいと考えております。</p>	○	広報課 36-7118
10	メール	大井川流域市町村会議の報道について	<p>記者会見をテレビ報道で拝見させていただきました。大井川流域に住まいするものとして、感謝、申し上げます。水問題は、自然の象徴的な存在で、人が手を加えていくことは、将来の自然環境をどのように考えていくかを、深い見識に立って構想していかなければならないことだと思います。前回の JR との交渉の会見で「JR 提案を断る理由が見当たらない」との会見があった時には、正直、落胆しました。〇〇が大井川の水を経済優先でずたずたにしてしまった二の舞を、私たちの世代でも見ることになるのかと、思いました。「草木国土悉皆成仏」。人が自然に手をつけるのには、100年の構想と、見識ある確信と信念をもって向かわなければなりません。崩れたら治せばよい、少なければ、足せばよいというような、次元の低い問題ではないと考えています。よろしくお願いします。</p>	<p>リニア中央新幹線整備に係る大井川水系の流量減少をはじめとする水問題は、島田市のみならず流域 8 市 2 町の 60 万人を超える住民の生活、そして経済活動に大きく関わるものです。</p> <p>島田市は、大井川の「地元中の地元」です。私は強い思いを持ち、然るべき場で積極的に発信してきました。</p> <p>7月10日の会談を受けて、私が発言し、新聞等メディアに報道された内容について、述べたいと思います。</p> <p>私は、国土交通省の「坑口等整備が、水資源及び自然環境保全に影響を与えらることは考えにくい工事内容であること」との主張に対して、反対するだけのしっかりとした論拠を持つ必要があるのではないかと趣旨の発言をいたしました。また、「準備工事」について、それぞれ流域市町での解釈に差があるのではないかと、疑問を口にいたしました。</p>	○	戦略推進課 36-7366

				<p>私は、決して考え方を変えたわけではなく、水を守り抜くために、リニアと環境の両立に向けて、具体的かつ建設的な議論をしなければいけないと感じているのです。報道を介することによって、私の発言の真意が正しく伝わらなかったことを、大変残念に思います。</p> <p>最近では、リニアの話題が報道されない日はほとんどありません。しかし、論点が拡大・拡散する傾向にあり、見通しが立たず、どんなことが起こっているのか皆さまに正しく伝わっていないのではないかと心配しています。正しい情報を伝えられるよう努めてまいります。</p>		
11	手紙	リニア中央新幹線工事の件	<p>かねてより、本工事に伴う大井川源流域の自然破壊、水源破壊の問題に門外漢ながら頭を痛めて居りまして、朝日新聞の声欄(7月6日掲載)にも意見具申を行いました。 知事にも大井川の環境保護、水資源の保全などについて一県民の思いとして御手紙を差し上げ、〇〇の、国策故の強硬な姿勢に懸念を表明し、御賛同の御手紙を頂いて居ります。</p> <p>この工事につきましては、「国土強靱化」と云う意味合いの旗印の下で進められているようですが、声欄の投稿に書きましたように、この IT 化時代、今回のコロナ問題で図らずも明白になったように、テレワークの有用性が認識された段階で、果たして東京・名古屋間を一時間で走る意義があるのか、はなはだ疑問に感じて居ります。</p> <p>地下水脈の離断による水位の低下、下流域の水資源減少については、専門家にも懸念されており、更に「糸魚川静岡構造線」のすぐ西側の断層地帯にある赤石山脈を横断するトンネル掘削については、遠からぬ将来、到来が予想されている大きな地震の際の安全性が本当に担保されているのか、大災害時の在来新幹線の代替路線としての期待もあるようですが、殆んど全地下を時速 400～500Km で走行する、無人の高速列車に何事かあれば極めて甚大な被害が出来る可能性は明らかです。国土強靱化ならぬ悲惨な状況が懸念されます。</p> <p>リニアの高い技術は広大かつ平坦な国上を持った国へ輸出すれば良く、この山ばかりの狭い日本</p>	<p>リニア中央新幹線整備に係る大井川水系の流量減少をはじめとする水問題は、島田市のみならず流域 8 市 2 町の 60 万人を超える住民の生活、そして経済活動に大きく関わるものです。</p> <p>島田市は、大井川の「地元中の地元」です。私は強い想いをもち、然るべき場で積極的に発信してきました。</p> <p>今日の島田市の発展があるのは、大井川の表流水に留まらず地下水までを含めたすべての水のおかげだと言えます。南アルプスを源とするその恵みは、農林業・工業・観光業の成長に加え、ここにしかない歴史・文化の創造に大きく寄与してきました。</p> <p>最近では、リニアの話題が報道されない日はほとんどありません。しかし、論点が拡大・拡散する傾向にあり、見通しが立たず、どんなことが起こっているのか皆さまに正しく伝わっていないのではないかと心配しています。正しい情報を伝えられるよう努めてまいります。</p> <p>大井川の水は、流城市町にとって、まさに「命の水」です。大井川利水関係協議会を中心とする「オール静岡」の態勢で、納得できる説明を求めてまいります。今後も御理解、御支援をよろしく願いいたします。</p>	○	戦略推進課 36-7366

			<p>には不要の交通手段では無いかと思えます。</p> <p>国策として進めている事業はもはや止める事は無理かと思えますが、せめて、山梨県の甲斐駒ヶ岳の北側を迂回するルートに変更出来れば、大井川、其の源流の自然環境、水資源の破壊を回避出来るのではないかと愚考致します。</p> <p>迂回したとしてもこの速度ならば、東京・名古屋間ではわずか数分の違いが生じる程度でしょう。迂回に要する巨額の追加費用、時間を犠牲にしたとしても破壊される自然環境を考えればわずかな損失でしょう。</p> <p>更に、この大電力を要するリニア新幹線の運行の為、改めて原発の再開が要求される可能性もあるのではないのでしょうか。各地の原発の核燃料処理、廃炉、汚染水処理など、到底解決不可能な問題が山積されながら、依然として原発を推進する愚については申し上げるまでも無いと思えますが、これらの問題を包含しつつ、なし崩しに、既成事実として地元へ押し付けられる危険性をひしひしと感じて居ります。</p> <p>リニア新幹線ルートに深く関わる自治体の長として、関連の他県、他市町の意向との兼ね合いもあり、市長が極めてデリケートな御立場にある事は良く理解出来ますし、それ故に御悩みになる事案も尽きないであろうと思えますが、どうか、大井川流域の住民の為、また、誇り得る南アルプスとその谷の自然保護の為、引き続き御尽力願いたいと存じます。</p>		
--	--	--	---	--	--